

# 令和元年度第3回島田子ども・子育て会議 会議録

日時 令和2年1月27日(月)

午前10時～11時30分

場所 島田市会議棟C会議室

## 【出席者】

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| ④ 永田恵美子委員 | ② 大石富佐子委員 | ③ 山口学世委員 |
| ④ 小塩倫代委員  | ⑤ 紅林絢子委員  | ⑦ 松浦優子委員 |
| ⑩ 杉本真美委員  | ⑭ 石間幸典委員  | ⑮ 鈴木龍彦委員 |

## 【欠席者】

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| ⑥ 久保田愛子委員 | ⑧ 青野宏子委員 | ⑨ 長田忍みこ委員 |
| ⑪ 坂田美智子委員 | ⑫ 本多裕子委員 | ⑬ 鈴木利弘委員  |

## 1 開会

(事務局)

皆さま、こんにちは。お忙しい中、「令和元年度第3回島田子ども・子育て会議」にご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので、会議を始めます。よろしくお願ひします。

本日の資料を、皆さんのお手元に置いています。資料としては、「本日の次第」「子ども・子育て会議委員名簿」「第2期島田市子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント回答」「第2期島田市子ども・子育て支援事業計画素案」です。資料に不足があればお知らせください。

では、本日の会議を次第に沿って進めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。初めに、永田委員長よりごあいさつをお願いします。

(委員長)

おはようございます。今週は天気があまり良くないことと、中国からの新型肺炎が世間をにぎわせています。今回は、議題が1つ、パブリックコメントの回答となっています。

それでは、「第2期島田市子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント回答」について説明をお願いします。

## 2 審議案件

(1) 第2期島田市子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント回答について

(事務局)

\*事務局より資料について説明 (コメント1つずつ意見)

(委員長)

ありがとうございました。パブリックコメントの1つめについて、ご説明がありましたが、何かご意見ありましたらお願いします。

(A 委員)

保育料に関して、個別のケースをつくってしまうと今後の施策が難しくなると思います。多角的な支援をしている現状において、多方面から検討していくという意見はいいと思います。

(委員長)

保育料の無償化は広告もでて、勘違いするケースもあると思います。なにか訴えたい気持ちはすごく伝わってきます。育児負担を軽減する取組も必要になると思います。

(事務局)

\*事務局より資料について説明

(委員長)

ありがとうございました。パブリックコメントの2つめについて、ご説明がありましたが、何かご意見ありましたらお願いします。住宅奨励金についてはどのようなものですか。

(事務局)

移住定住施策の一環として実施しています。島田市に移住する際に、中古物件を選ぶことや新築した際に、ある一定の条件が満たされれば、補助されるようになっています。さらに子育て世帯であれば、上乘せして補助がでるようになっています。

(B 委員)

補足します。中古物件を活用するとさらに補助がでます。地区によって、奨励金を出す制度となっています。一般の方々に合わせて、子育て家庭に対しての加算もある事業となっています。今は3つほどの事業があるため、このような回答になっています。

(A 委員)

大草や川根の住宅は、子育て応援住宅でしょうか。入居率はどうですか。

(C 委員)

川根はそうなります。入居率も 100%だと思います。

(事務局)

\*事務局より資料について説明

(委員長)

ありがとうございました。パブリックコメントの3つめについて、ご説明がありましたが、何かご意見ありましたらお願いします。

(D 委員)

我々の事業でも、ワークショップの開催時に見守り託児というかたちを設けながら実施しています。親がワークショップを実施している時間に、子どもはそこで見守られている状態になっています。モノ消費からコト消費に変わってきている中で、親の学びを入れたかたちのイベントも必要になると感じました。

(E 委員)

親御さんの心のケアについてですが、誰かが保護者を楽しませるものではなく、親にとっての学びや子どもと一緒に作りあげる大変さを味わうなど、体験が親にとっても大事な経験になり、心のケアにつながる部分もあると思います。

(委員長)

心のケアは、結果的になっただけいいのではないかと思います。これを目的にするのはどうかと思います。それでは4つめをお願いします。

(事務局)

\*事務局より資料について説明

(委員長)

ありがとうございました。パブリックコメントの4つめについて、ご説明がありましたが、何かご意見ありましたらお願いします。

(D 委員)

地域において、公会堂をつかって駄菓子屋さんをしています。子どもと高齢者の交流が生まれると、高齢者の方も本当に元気になります。地域の交流も生まれます。例えば、それが老人ホームの中にあれば、生きる喜びにつながるのではないかと思います。こうした交流によって、元気をもらえることもあるので、前向きに検討したいと思いました。

(F 委員)

D 委員の意見には賛同しています。しかし、捉え方を間違えると、一時預かりの場所として、老人ホームを活用する現実はあり得ないと思います。地域で一緒になにかすることはいいことだと思いますが、老人ホームは介護施設ですので、介護施設と保育の施設を一緒にすることは難しいと思いました。このコメントをどう受け取るかによって心配なところがありました。

(G 委員)

老人ホームの程度にもよると思いました。元気な高齢者の方との交流はいいと思いましたが、高齢者によっては、重度の介護状態で、元気でない場合も考えられます。

(委員長)

どうしても、施設の目的が違いますので、注意は必要かと思えます。

(E 委員)

市の回答について、居場所づくりについて回答されていますが、いかがでしょうか。

(B 委員)

居場所づくりについて、年齢層に応じて、放課後児童クラブや一時預かりなどで役割を担っている部分もあります。全ての事業を通して、居場所づくりとしています。安心安全という面では、老人ホームと一緒にするというわけではなく、イベントとして実施することはいいかなと感じています。待機児童解消に向けて、様々な施設を活用されていると思えますが、

(A 委員)

高齢者の場合は、介護認定に合わせて実施されているところで、子どもと高齢者をつないでいくのはいいと思いますが、ハコモノをつくるというのは違うと思います。内容をどうしていくのか、どうつなげていくのかが大事だと思います。

(H 委員)

幼稚園でも慰問することがあります。行くと非常に喜んでいただけます。そうしたことを聞くと良かったと感じます。そのことを考えると、より一層、子ども達の体調を考えながら影響がないように気をつけたいと思いました。

(委員長)

以上でパブリックコメントについては以上としたいと思います。次にその他はいかがでしょうか。

## (2) その他

(事務局)

\*島田市版ネウボラ事業についての報告

(委員長)

ありがとうございました。かかりつけ医と同様の保健師がいることはすごく良いことだと思います。前から知っているところは、一から話さなくてもいいことは、負担軽減につながると思います。ご意見はありますか。

(A 委員)

ネウボラについては、すごく期待しています。この前、はじめて、保健師がいるので連携してほしいと言われ、保健師が保護者に近い存在になってきていることを実感しました。フィンランドでは、発達児童はどうしているのかと聞くと、ネウボラで担当していると回答ありました。関係性をうまく構築できるのかが、現場の課題だと思いますので、保護者にとって円滑な関わりになるといいなと思います。

(B 委員)

子育て応援課と健康づくり課との関係性は深いものだと思います。発達も大事だと思いますし、虐待のこともあります。子育てに関する事の課題を把握することは大きなことだと感じています。その中で、ネウボラ事業は今後発展していきたいと思います。

(事務局)

全体を通じてなにかご意見はありますか。

(保育支援課)

素案の 65P に、パブリックコメント実施時になかった部分を記載しております。認定こども園の名称が決まりましたので、名称を追記しています。この名称については、保護者に伝えていないとのことで、しばらくの間、公表は控えていただきますようお願いいたします。

(事務局)

次回の会議については、6章以降の計画の最終案をご提示させていただきます。2月18日の10時から開催します。印刷製本については、3月中旬以降になります。

(C 委員)

会議後の修正は対応可能でしょうか。

(事務局)

対応は可能です。

(委員長)

長い時間、皆さんありがとうございました。終了致します。

以上